

2021年度 事業報告

〔2021年 4月 1日から
2022年 3月31日まで〕

静岡市清水区折戸二丁目1番3号
一般社団法人 清水マリン・アンド・ビーチスポーツ振興協会

事業報告

〔 2021年 4月 1日から
2022年 3月 31日まで 〕

1. 事業報告概要

清水マリン・アンド・ビーチスポーツ振興協会は、2019年10月の設立以来、以下を目的に活動しています。

- ・海洋文化を切り口とした街づくりの一環として、マリンスポーツ及びビーチスポーツの振興に関する事業を行い、地域の活性化、青少年の健全な育成をはかる
- ・海の素晴らしさや楽しさだけでなく、海の厳しさについても啓蒙することで、海の安全、環境の保全への認識を高めることにより、健康で文化的な地域社会の構築に寄与する

2021年度は過去2年間の活動を継承し、清水港周辺地域のマリンスポーツ及びビーチスポーツの振興につなげるために、スポーツ団体への支援、ホームページを活用した広報活動の他、関係団体機関との連携による情報収集、環境整備に向けた提言を進めてまいりました。

しかしながら、2020年末からの世界的な新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）の蔓延長期化により、静岡県内では緊急事態宣言・蔓延防止等重点措置が発令され、各スポーツ団体の活動においても活動の休止、大会・イベントの中止や規模縮小などの制約が引き続き発生し、協会の活動計画にも大きな影響が出ました。

蔓延初期から比較するとその影響は縮小傾向にはありますが、コロナ前の状態に戻るにはしばらく時間が掛かることが予想され、ウィズコロナの中、どのようにして各団体の活動を支援し、また協会の活動を拡充していくかの工夫が重要になります。

清水エリアにおけるマリンスポーツ及びビーチスポーツの振興に向けて、会員の皆さまにおかれましては、引き続き当協会へのご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

2. 現況に関する事項

(1) 会議の開催

2021年度は、以下の会議を開催しました。

① 定時社員総会（書面開催）

決議があったとみなされた日：2021年 6月25日

② 理事会

第1回理事会（書面開催）

決議があったとみなされた日：2021年 6月 4日

第2回理事会（書面開催）

決議があったとみなされた日：2021年 7月 2日

第3回理事会（対面開催）

開催日：2021年12月 6日

第4回理事会（対面開催）

開催日：2022年 3月15日

③ 運営委員会

第1回運営委員会（オンライン開催）

開催日：2022年 2月 1日

(2) スポーツ団体、大会・イベント等への支援

1) 助成金の交付

2021年度は第2回理事会で計7団体に対して、総額4,500千円（新型コロナ割増枠を含む）の助成を決定いたしました。しかしながら、新型コロナの蔓延長期化により、各団体の活動・イベントが休止・開催見送りになるなどの影響が出た結果、1,770千円の助成となりました。

詳細は以下の通りとなります。

【2021年度 助成決定団体】

○ 助成金を交付した団体・イベント

- ・Miho Cup実行委員会
推進競技：SUP、ウインドサーフィン
助成内容：Miho SUP体験会開催に掛かる会場設営、マリンアクティビティ運営費等
- ・NPO法人 清水港ヨット協会
推進競技：ヨット
助成内容：協会の年間活動における体験会等のイベント、大会の実施費用
- ・清水海洋少年団
推進競技：その他
助成内容：海洋少年団の年間活動における備品購入、活動地周辺環境の整備費用
- ・清水マリーナフェスティバル実行委員会
推進競技：レガッタ
助成内容：実行委員会所有の艇保管場所の賃借料
- ・静岡ドラゴンボート協会
推進競技：ドラゴンボート
助成内容：協会所有の艇の補修費
助成内容：ツナカップ開催に掛かる会場設営費等
- ・ジュニアユースウインドサーフィン選手権実行委員会
推進競技：ウインドサーフィン
助成用途：大会運営スタッフ、備品購入、ノベルティ作成費用等
助成内容：ジュニアユースウインドサーフィン選手権開催に掛かる会場設営費等

○ 助成の申請が取り下げとなった団体・イベント

- ・ビーチバレー清水カップ実行委員会
推進競技：ビーチバレー
助成内容：ビーチバレー清水カップ開催にかかる会場設営等の費用
取下理由：大会の開催見送りのため

2) 備品の購入、支援団体への無償貸与

2021年度より助成金に次ぐ新たな支援として、各スポーツ団体が活動、大会・イベントなどで共通して使用する備品を協会として購入し、無償貸与するように各団体へのヒアリングを基にAED1機、ビブス45着、救命胴衣10着を購入しました。各団体への無償貸与については2022年度より開始します。

3) 安全講習会の開催

地域の安全啓蒙活動に寄与するため、各団体の皆さまにお集まりいただき、安全講習会の開催を予定しましたが、県内の緊急事態宣言・蔓延防止等重点措置の発令により、2021年度は人が集まったの開催を見送り、安全に関する資料の配布に留まりました。2022年度は、各支援団体様や行政のご支援をいただきながら、当協会として地域の安全啓蒙活動に寄与してまいります。

(3) 外部広報活動の推進

1) ホームページ (<https://www.smbs.or.jp>)

地域住民の皆さまだけでなく、各団体に所属されている方々にも清水港周辺で行われている他のスポーツにも興味を持っていただけるような各競技の横の繋がりを生むポータルサイトを目指し、協会の活動や各支援団体の活動を発信するツールとして、定期的な情報の更新とコンテンツの充実を進めています。2021年度も新型コロナウイルスの影響により、各団体の大会・イベントは見送り・延期がされていることもあり、発信件数も限られてしまいましたが、各団体の大会・イベントの情報を発信しました。

2) テレビCM

当協会の知名度向上及び会員企業の皆さまのPRにつなげられるように、各スポーツ団体の協力をいただきテレビCMを制作しました。本CMはケーブルテレビ局及び県内のテレビ局での放映を行うように関係各所との調整を進める他、ホームページへの掲載を進め、当協会の更なるプレゼンスの向上を図るとともに、地域の皆さまへの露出を高めることで、マリンスポーツ・ビーチスポーツの賑わい作りに貢献してまいります。

(4) 関係団体及び関係機関への情報収集

1) 三保内浜クリーンアップ協議会 (2021年7月18日)

清水マリンフェスティバル実行委員会と三保内浜クリーンアップ協議会が連携し、三保半島の内浜で「三保内浜クリーンアップ作戦」が実施され、当協会にも協力要請があり、事務局にて参加しました。

当日は、当協会の事務局に加え、活動を支援しているビーチバレー清水カップ実行委員会様、清水港ヨット協会様、静岡ドラゴンボート協会様など、地元企業や自治体、自治会関係者計340人以上が参加しました。三保地区は将来的に「海洋レクリエーションの拠点」や「マリンスポーツの聖地」として期待されていて、地域づくりが進められています。

2) 静岡県スポーツ・文化観光部スポーツ局スポーツ政策課 (2021年9月17日, 2022年2月16日)

県内のマリンスポーツ、ビーチスポーツの振興に携わる団体が集まる意見交換会が同課主催で開催され、御前崎、掛川、静岡、下田、浜松、牧之原の各市とともに当協会も参加いたしました。

意見交換会は9月：オンライン、2月：静波サーフスタジアムにて行われ、会の中では牧之原市より静波サーフスタジアム、掛川市からは水上オートバイによる海難救助活動に関する協定書の締結、浜松市からは遠州灘海浜公園江ノ島地区整備の基本設計についてご紹介などがありました。

また、三保内浜につきましては、静岡県 清水港管理局・静岡市 海洋文化都市推進本部との間で進められている利用者ルール策定の他、2023年度より開始が予定されている海浜地と周辺エリアの管理・運営の民間委託に関してご紹介がございました。

(5) マリンスポーツ・ビーチスポーツ振興に繋がる環境整備の提言

1) 三保内浜の管理・運営について (2021年11月22日)

静岡県より三保内浜について、利用者に質の高いサービスを提供するために、現在、県が行っている管理運営（トイレ等の整備、清掃、イベント企画・運営など）を民間事業者に委託することの検討を開始された旨、説明がありました。これから各関係機関に意見徴収をして、詳細の検討をされるとのことであり、引き続き情報収集を進めてまいります。

2) 清水海洋少年団 (2022年2月14日)

同団は三保内浜を活動拠点として活動を行っていますが、梅雨のシーズンなど、雨天時の活動場所に課題を抱えていました。今回、三保内浜で三保ビーチステーションを運営されている運営委員である合志様をご紹介し、ご厚意によりビーチステーションの1階をお借りする橋渡しをさせていただきました。